

一宮南中学校第三回卒業生同窓会

記念文集

2012年1月2日

目次:

今回の同窓会世話人代表挨拶	1
今回の事務局経過報告	3
今回の同窓会プログラム	5
先生方の近況・消息 回想と追悼のひとつき	7 11
会食・団らん・近況報告・歌 スナップ写真集	25
ハガキによる消息欄・友への 追悼のこぼし・手紙・寄書き	46 74
会計報告・校訓碑 今回の同窓会規約	86 91

朋（とも）あ
り遠方より来
（きた）る、
亦(また)楽しか
らずや。

今回の同窓会世話人代表挨拶

此の度、約四分の一世紀振りに、一宮南中学校第三回卒業生同窓会を開催出来る運びとなりました事を心から感謝したいと思います。昨年は東北大地震や和歌山県での台風による大水害等が起きて何かとんでもない年となりました。全て「想定外や！」などという言葉だけでは、一言で片付けられないような気がします。亡くなられた方々、命こそ助かったけれど家も財産全てなくなり、着の身着のまま生活に余儀なくされている方々、親族や関係者の方々に対し心からお悔やみ申し上げます。扱、こんな時柄、何故に同窓会なんやとおっしゃられる方も居ら



今回の同窓会の発起人：中村一巳君

れるかと思いますが、こんな沈んだ時だから、せめて気持ちだけでも元気を出して貰う意味でも、心を込めてやりたいと思っ

ただ、皆に会いたい！

実に前回開いてから二十四、五年。その前回来られなかった人に至っては実に四十三年振りくらいかな？もうとっくにおじいちゃん、おばあちゃんになっておられる方も多数おられるかと思われま

す。数年前に安黒地区のF君宅に会いに行ったのですが、行ってみると「寿彦は実はもう病気で亡くなったんですよ」とお母さんがおっしゃるのを聞き、「ああ、やってしまった。もっと早く会っていれば…」「もう二度と会えない…」と自分の接触のなさに腹が立ちました。自分の気配り不足がくやまれて仕方あり

ませんでした。「すまん、お前の分まで生きてやるから…」と手を合わせ、写真の前で誓ってきました。此の度、今回の旗振り役のような事になったのも、そんな気持ち「ただ皆に会いたい！」それだけからの気持ちであります。なかには「地元にも居らんで、ええカッコするな！」と言われた人も居られた様に後で聞きましたが、「誰もやってくれへんなら、自分たちでやるしか仕方ないな、自分らでやろう!!」そう思ったのがきっかけです。

カー杯、今日を生きていく



東灘区から駆けつけてくれた榎君

F君を始め、自分が居た三年二組だけでも、既に六人のクラスメートがもうこの世には居られません。学年だと先生も入れるともっとたくさんになります。皆さん、皆さんの回りを見渡してください！有名人はもとより、知人、先輩、後輩、親、兄弟、親戚等、何人の人が思い当たられることでしょう。きっと寂しい思いをなされておられる人も少なくないと思われます。

「運命なんだから、仕方ないだろう…！」そう言われるとそれまでですが、そう解っているなら、それなりに逆らわず、その範囲の中で「カー杯今日を生きていく」という生き方も一つの方法です。とに角、何か一つでも自分から行動を起こす事です。「消極的なものからは何も生まれへんで…」と誰かが言ってました。

貴重な時間や労力をさいて

「酒もないようなものに行かん！」
「どこっかへ出かけるところがある。」
「忙しくて仕事や。」
「金もないし、遠いし、行ってもしようがない。」
「病気をしているから。」
「不幸があったから、行く気がしない。」
「仕事してないし、話題もないので」
「面白そうにないから行かん」
色々な理由でここに来られない方々があらうかと思われます。どうか皆さん、その人たちの分まで楽しんであげましょ

う。諸々事情をすべて忘れて僅かな時間ですが、思いっきり語ってください！

最後に、この会の運営にあたり、安黒務君を始め、役員となってお尽力して協力して戴いた皆様、ほんとうにありがとうございます！休日や雨降りにも拘わらず、皆様のとて貴重な時間や労力をさいて戴き感謝致します。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます！



神戸市北区鈴蘭台から駆けつけてくれた中路君

たわむれに母を背負いて、そのあまり軽きに泣きて、三歩あゆまず

皆様方が自分の故郷

僕にはもう故郷は有りませんが、今度はこちらに集ってくださった皆様方が自分の故郷です。こんな私たちが少しでも前向きに皆様のお世話出来ました事も皆様のおかげです。心から感謝したいと思います。来ていただいた皆

様、（また来れなくても）通信やお手紙で近況を伝えてくださった皆様、ほんとうにありがとうございました。

平成二十四年一月二日

中村一巳